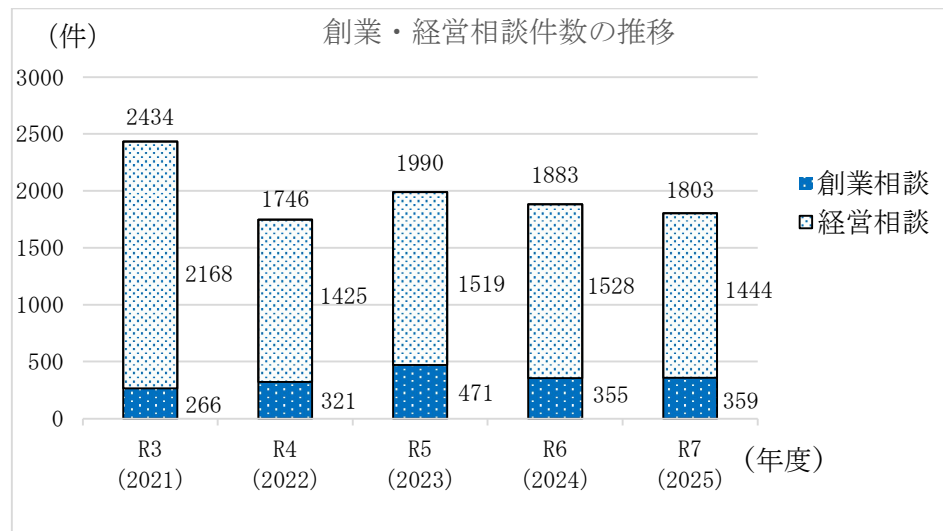


杉並区産業振興計画に基づく令和 7 年度の主な取組実績

取組項目 1 中小企業に関する取組 中小企業の経営力強化と創業の促進

(取組1) 創業・経営相談窓口の充実【重点】

○創業・経営相談窓口を相談員 4 人体制で実施した。



(取組2) 中小企業資金融資あっせん制度の充実

○小規模事業者の経営の安定と発展を図るため、東京商工会議所杉並支部の推薦により、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の融資を受けた小規模事業者に対し、利子の一部を補助した。

・マル経融資利子補助（補助率 30％） 決定件数：85 件 決定額：1,037,178 円

貸付決定金額別の件数

貸付金額	件数	割合
2,000 万円（上限額）	11 件	12.9%
1,600～1,999 万円	0 件	0.0%
1,200～1,599 万円	10 件	11.8%
800～1,199 万円	9 件	10.6%
400～799 万円	21 件	24.7%
100～399 万円	33 件	38.8%
～99 万円	1 件	1.2%
合計	85 件	100%

(取組3) 創業支援の拡充【重点】

○区内創業者を対象として、事業所家賃やホームページ等の作成費を助成する創業スタートアップ助成や創業セミナー等を実施し、区内における創業促進と商店街の活性化を図った。

＜創業スタートアップ助成＞

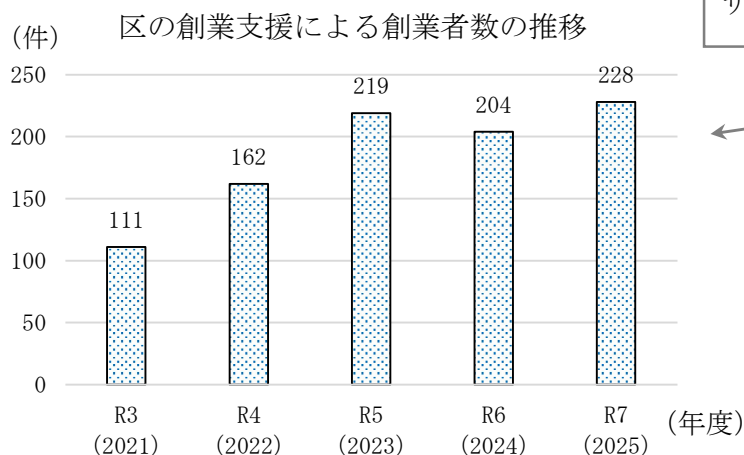
- ・事業所家賃助成（上限 30 万円、助成率 2/3）：41 件 11,078,000 円
- ・ホームページ等作成助成（上限 20 万円、助成率 2/3）：18 件 2,883,000 円
- ・商店会加盟数：32 件

＜創業セミナー＞

経営・財務・人材育成・販路開拓をテーマとした全 4 回のプログラム

- ・女性のための創業セミナー（6 月土曜日に開催）参加者数 20 名（定員 20 名）
- ・女性と若者のための創業セミナー（10 月土曜日に開催）参加者数 20 名（定員 20 名）

＜創業支援資金に係る信用保証料補助＞ 18 件



業種別では、飲食サービス業、生活関連サービス業、卸売業・小売業が多かった。

指標別実績

指標名	実績値			目標値		
	5 年度 (2023 年度)	6 年度 (2024 年度)	7 年度 (2025 年度)	6 年度 (2024 年度)	9 年度 (2027 年度)	12 年度 (2030 年度)
創業・経営相談 窓口の満足度	96%	95%	96%	90%以上	90%以上	90%以上
創業支援による 創業者数 ^{※1}	219 件	204 件	228 件	180 件	180 件 ^{※1}	180 件 ^{※1}

※1 創業者数の実績が増加しているため、令和 8 年度の杉並区総合計画の改定の際に目標値を上方修正する予定。

取組項目 2 就労に関する取組 就労支援と多様な働き方の推進

(取組1) 伴走型の就労支援の充実【重点】

(取組2) 若者、女性、高齢者等の多様な働き手の支援の拡充【重点】

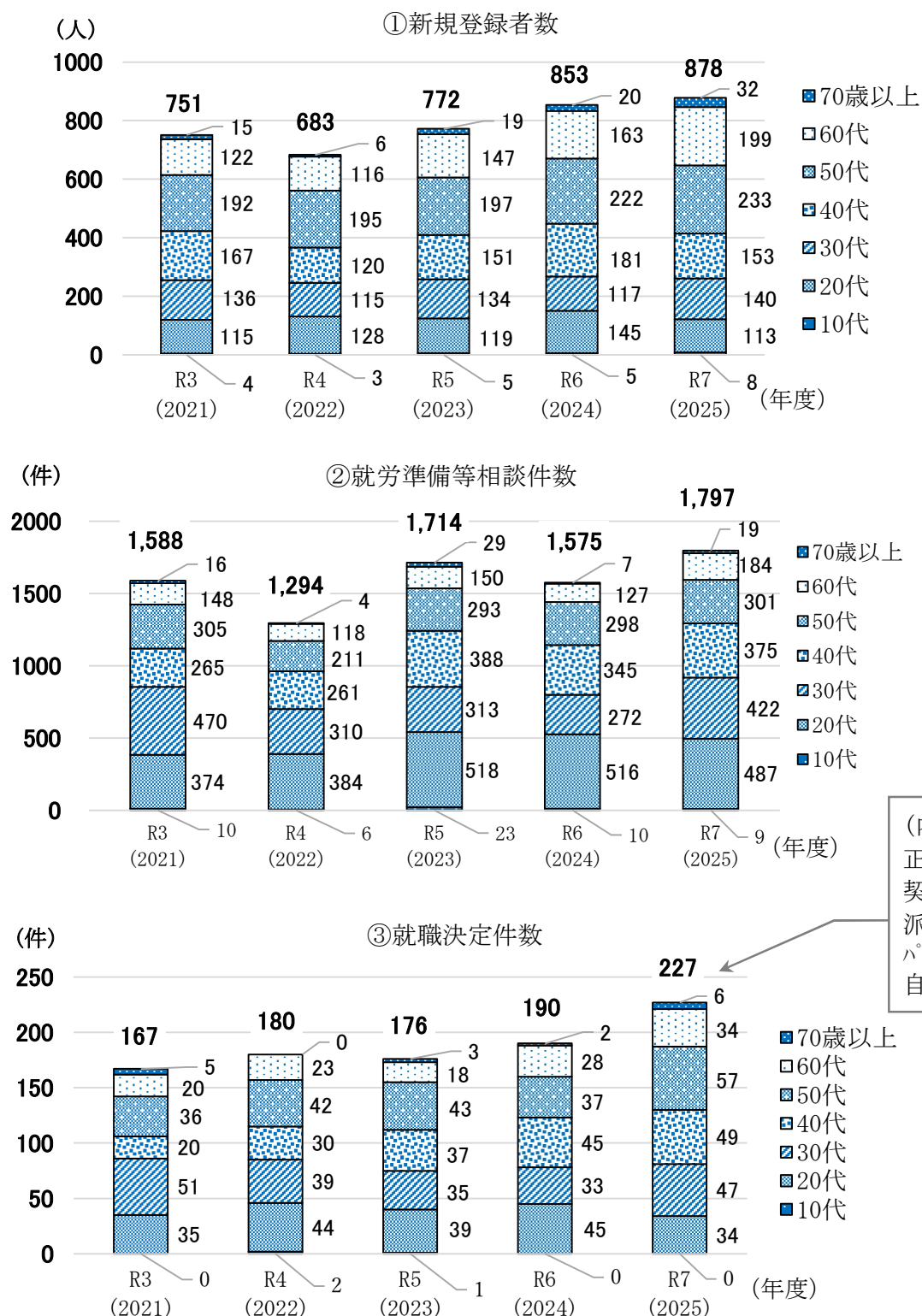
(取組3) 関係機関と連携した就労支援【重点】

(取組4) 就労準備訓練・社会適応力訓練の支援【重点】

○就労支援センターにおいて、ハローワークや生活自立支援窓口、就労関係機関等との連携を図り、相談者に寄り添った伴走型の支援を実施した。

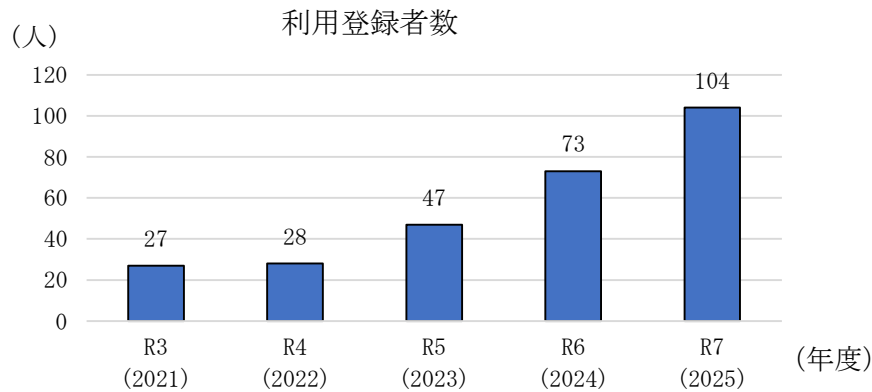
また、「若者就労支援コーナー」について、全年齢を対象に支援していることを分かりやすくするため、令和7年11月1日付で、名称を「就職サポートコーナー」に変更した。

〈就職サポートコーナー(すぎ JOB)〉



〈ハローワークコーナー〉 令和7年度 職業相談件数：7,072件 就職決定件数：374件

〈ジョブトレーニングコーナー(すぎトレ)〉



(取組5) 区内企業のマッチングにつながる支援

○中野区やハローワークと連携し、就職面接会等を実施した。

実施回数：50回 参加人数：延570名 採用人数：72名

(内訳) ・杉並区・中野区保育のおしごと就職相談・面接会

9/7開催：23事業者 35名参加 4名採用

・障害福祉のおしごと相談・就職面接会

9/28開催：14事業者 52名参加 4名採用

・介護のおしごと就職相談・面接会

11/8開催：30事業者 42名参加 7名採用

・中野区・杉並区わかもの就活応援フェア

1/21開催：8事業者 57名参加 3名採用

・アニメのおしごと就活応援フェア [杉並区単独開催]

3/9開催：6事業者 50名参加

※求人を取り扱わず、企業交流を主としたイベントのため、採用者はいない。

・ミニ面接会、ツアー面接会(事業所見学付きの面接会) [ハローワーク主催]

計45回開催：45事業者 334名参加 54名採用

○区役所及び就労支援センターにて就職相談・面接ブースを実施した。

・シニアおしごと相談会

7/9, 16, 23, 30開催：4事業者 44名参加 4名採用

・わかもの就職応援フェア

11/27開催：11事業者 55名参加 1名採用

・すぎJOBフェア

2/10開催：6事業者 33名参加 6名採用

指標別実績

指標名	実績値			目標値		
	5年度 (2023 年度)	6年度 (2024 年度)	7年度 (2025 年度)	6年度 (2024 年度)	9年度 (2027 年度)	12年度 (2030 年度)
就労支援センター の利用による 就職決定者数	545人	579人	601人	850人以上	850人以上	850人以上
すぎJOB及び すぎトレの満足度	82.5%	78.5%	89.2%	95%以上	95%以上	95%以上

取組項目 3 商店街に関する取組 地域に根ざした商店街の活性化

(取組1) 地域ににぎわいをもたらす商店街づくりの推進【重点】

(取組2) 地域団体等との連携による地域の活性化【重点】

○商店街が実施するイベント事業等への補助を行った。

<新設>

・商店街トライアル事業

商店街のデジタル化の推進や、来街者の増加を図るために以下の事業を新設した。

キャッシュレスポイント還元事業：補助率 10/10、補助上限額 500 万円

ショート動画事業：補助率 10/10、補助上限額 50 万円

・こども応援事業

商店街等がこども向けに実施するイベント事業及び活性化事業に対する補助を新設した。

イベント事業：補助率 8/9（都 5/9、区 1/3）、補助上限額：55 万 5 千円

活性化事業：補助率 5/6（都 1/2、区 1/3）、補助上限額：1,000 万円

・大規模イベント支援事業

商店街チャレンジ戦略支援事業組織活力向上支援事業うち、大規模なイベント事業に対する補助を新設した。

補助率：2/3 補助上限額：1,125 万円

<主な補助実績>

・商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業）補助：92 件⇒令和 6 年度比 6 件増

うち、大規模イベント支援事業：1 件、組織活力向上支援事業：9 件、若手・女性支援事業：5 件、女性活躍推進事業：1 件、地域の観光需要対応支援事業：1 件、こども応援事業：3 件

例：阿佐谷七夕まつり、高円寺びっくり大道芸、HONAN エイサー&ミュージックフェスなど

・地域連携型商店街事業（イベント事業）補助：1 件⇒令和 6 年度比 1 件減

例：久我山ホテル祭りなど

・商店街定期開催事業補助：7 件⇒令和 6 年度比増減なし

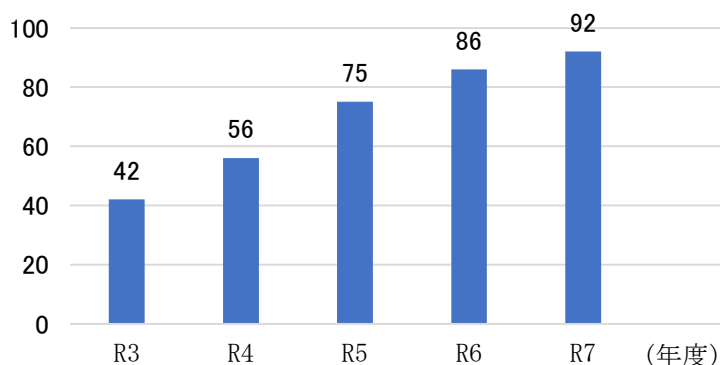
例：方南町ピアガーデン、ニコニコフリーマーケット、おとなの部活など

・商店街トライアル事業補助：16 件⇒令和 6 年度比 11 件増

（内訳 イベント事業 1 件、活性化事業 1 件、個店連携事業 2 件、キャッシュレスポイント還元事業 10 件、ショート動画事業 2 件）

例：神明通り共和会おさんぼちず作成事業ほか

(件) 商店街チャレンジ戦略支援事業(イベント事業)の件数



阿佐谷七夕まつり



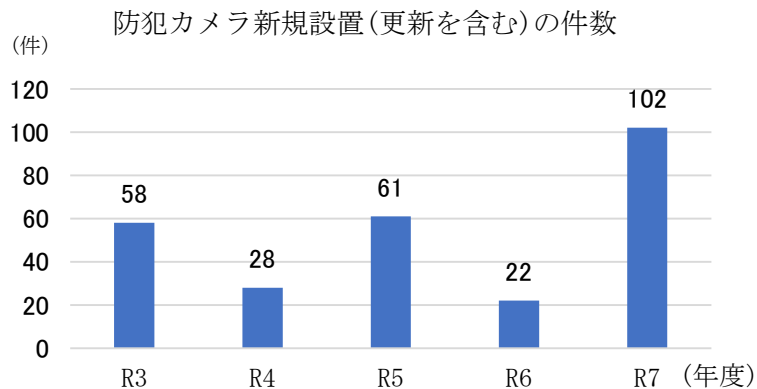
(取組3) 快適に買い物ができる商店街づくりの推進【重点】

○快適に買い物ができる環境づくりを進めるため、商店街の施設整備に要する経費の一部の補助申請があった。

- ・LED 街路灯の建替：1 件（広小路親栄会）

(取組4) 安全・安心で環境にやさしい商店街づくりの推進【重点】

○安全・安心に買い物ができる商店街環境の整備を図るため、防犯カメラの設置や維持管理等に要する経費の一部を支援した。また、設置に対する補助率を 5/6 から 11/12 に拡充した。（令和 9 年度まで）



○耐用年数を経過したLED装飾灯のランプ交換に要する経費について、東京都の補助制度を活用し全額補助を実施した。

LEDランプの交換：237 件⇒令和 6 年度比 38 件増

(取組7) 商店街のデジタル化推進策の検討

○商店街のキャッシュレス化の推進を図るために、商店街が独自にポイント還元やポイント付与上限、事業者を決定し実施する「キャッシュレスポイント還元事業」に対する補助を新設した（再掲）。

補助率：10/10 補助上限額：500 万円 実施件数：10 件

○来街者の増加を図るために、SNS で商店街を PR する「ショート動画事業」に対する補助を新設した（再掲）。

補助率：10/10 補助上限額：50 万円 実施件数：2 件

○商店街における新たな魅力の発掘や集客、将来的な商店街全体の活性化につなげるために、商店街・学生・区職員が商店街の SNS の投稿案や持続的な運用について検討する「商店街アイディア会議～SNS を活用した商店街の魅力発信について～」を令和 8 年 1 月 23 日に開催した。



商店街アイディア会議の様子



SNS での商店街 P R

取組項目4 観光・アニメに関する取組 杉並の魅力を生かしたにぎわいの創出

(取組1) 産業団体等との協働・連携による杉並の魅力発信【重点】

○「中央線あるあるプロジェクト」では、中央線4駅の観光資源をはじめとした、杉並の情報発信等を官民連携で行っている。

＜日本人に向けた情報発信＞

- ・「あなたが魅つける「なみじゃない、杉並！」をテーマに、フォトコンテストを実施
実施日：5月19日（月）～12月25日（木）
応募総数：1,843件
- ・荻窪駅周辺の魅力を発信するためのフォトツアーを実施
実施日：10月4日（土）
参加者：21名（申込者35名からの抽選）
- ・観光ガイドマップの改定・増刷

＜外国人に向けた情報発信＞

- ・角川庭園および大田黒公園を活用した抹茶体験会を開催
対象者：日本文化を好む外国人
実施日：3月13日（金）
参加者：延べ20名
- ・迪化街での阿波おどり公演及びワークショップを実施



＜地域との連携＞

- ・JR東日本が主催するイベント「駅からハイキング」に協力
パンフレット、ノベルティを制作
実施日：10月24日（金）～27日（月）
参加者：延べ1,400名
- ・浴場組合との連携によるデジタルスタンプラリーを実施（今年で3年目）
杉並・中野・新宿・渋谷の4区、計60銭湯に規模を拡大
実施日：12月1日（月）～2月15日（日）
参加者：3,248名
- ・武蔵野市との連携による「東西戦のみくらべ対決イベント」を実施
吉祥寺と西荻窪の「居酒屋周遊」を目的とした来街促進施策
実施日：11月1日（土）～2月28日（土）
参加者：延べ3,257名
- ・高円寺フェス実行委員会との連携による高円寺フェスの共催
実施日：10月25日（土）、26日（日）
来場者：157,564人
- ・区内アニメ制作会社を特集した紹介冊子の制作に協力



○東京高円寺阿波おどり

ふれおどり：8月22日（金） 来場者：5万人
本大会：8月23（土）・24日（日） 来場者：102万人

(取組2) 民間事業者のノウハウを活用した杉並の魅力発信【重点】

- 「人気声優・島崎信長の声で楽しむ！杉並街めぐりマップ」
区内40か所を紹介する音声ガイドを配信。このうち14か所をスペシャルスポットとして位置付け現地のみで聴取できるスタンプラリーを実施。
実施期間：11月1日（土）～2月28日（土）
実施事業者：株式会社 昭文社
音声ガイド総再生回数：7,206回
スタンプラリー参加人数：1,215人



(取組3) 区民との協働による杉並の魅力発信【重点】

- 「すぎなみ学倶楽部」では、区民ライターによる取材・執筆を行い区民目線で区の魅力を発信した。
 - ・ライター数：44名（令和8年6月1日現在）
 - ・取材・執筆数：長文25件、短文71件（令和7年度実績）
長文28件、短文66件（令和8年度予定）

<記事（抜粋）>

- ・杉並の桜の開花状況
- ・なみすけグッズ
- ・高円寺園芸祭り

すぎなみ学倶楽部 suginami-club.org

トップページ 投稿 記事一覧 イベント 2026年 杉並の桜の開花状況（高橋幸川緑地）

News 1 2026年 杉並の桜の開花状況（高橋幸川緑地）



(取組6) 杉並アニメーションミュージアムを活用したにぎわいの創出【重点】

(取組7) 区内アニメ制作会社等との連携の推進【重点】

- 杉並アニメーションミュージアム20周年記念イベント

令和7年3月で開館20周年を迎え、20年の歩みを振り返る展示および区内アニメ制作会社の紹介パネル展示等を区役所1階ロビー、2階ギャラリーにて実施。

実施日：7月22日（火）～7月31日（木）

来場者：約5,000人

○企画展

- ・「映画 それいけ！アンパンマン」展（4月12日～7月21日）
総来場者数：27,917人
- ・「映画 クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカベダンス」展（7月26日～10月26日）
総来場者数：16,758人
- ・「映画 すみっぐらし空の王国とふたりのコ」展（11月1日～3月29日）
総来場者数：24,936人

○区内アニメ制作会社との取組（ミニ企画展コーナー）

- ・石垣プロダクション
「追悼 渋谷幸弘が描いた世界 アニメ夏目友人帳背景美術展」（7月24日～11月27日）
- ・富嶽
「ペリリューー楽園のゲルニカー」展（11月29日～2月1日）
- ・区内アニメ制作会社
開館20周年記念イベントで展示した区内アニメ制作会社の紹介パネルを使用して「杉並区内アニメ制作会社紹介展示」（2月3日～5月28日）を改めて開催した。

○杉並アニメーションミュージアム総来館者数100万人突破イベント

令和8年1月28日に総来館者数が100万人を突破した記念として「アニメーションミュージアム来館100万人突破記念 なみすけと一緒に祝いしよう…の会！」を開催。

実施日：2月11日（水・祝）

参加者：54人



指標別実績

指標名	実績値			目標値		
	5年度 (2023年度)	6年度 (2024年度)	7年度 (2025年度)	6年度 (2024年度)	9年度 (2027年度)	12年度 (2030年度)
区が発信する観光情報を観た人のうち杉並区を訪れたいと思う人の割合	59.30%	84.43%	61.34%	64%	67%	70%
杉並アニメーションミュージアム来館者数※	57,291人	49,342人	71,514人	50,000人	65,000人	80,000人

取組項目 5 都市農業に関する取組 多面的な機能を有する都市農業の保全

主な取組内容・実績

(取組1) 都市農地の保全と適正管理【重点】

○令和7年7月から9月にかけて全生産緑地を対象とした農地利用状況調査（農地パトロール）を実施した。農地の管理状況等を確認した結果、耕作が行き届いていない農地保有者等に対して農地の貸借や農業ボランティアの活用を勧奨した。また、都市農地の保全と適正管理につなげるため、9月から10月にかけて区内の全農家に対し農業経営方針や農地の活用意向等に関する農業経営実態調査を実施し、農業者個々のニーズの把握を行った。

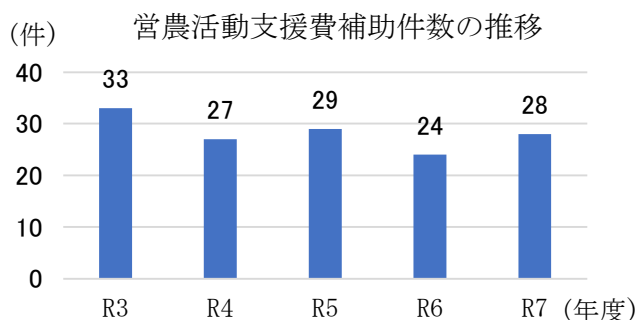
(取組2) 都市農業の維持・継続の支援【重点】

○農業者の実情を踏まえ、営農活動支援補助制度を拡充したほか、認定農業者※への登録を勧奨するなど、農業の経営基盤の強化に向けて取り組んだ。また、登録3年目の認定農業者（4経営体）へフォローアップとして、計画の進捗や課題等の聞き取りを行った。

※農業者自らが5年後の農業所得の目標を掲げ、経営改善計画を作成し、その計画が区に認定された者を「認定農業者」として、農業振興の中心的な担い手と位置付け、積極的に支援している。

・営農活動支援補助

申請：28件 8,016,000円執行 ⇒令和6年度比1,925,000円減



営農活動支援補助制度の拡充内容（令和7年度）

防災兼用農業用井戸設置者を対象とした井戸用発電機のメンテナンス費や、ファン付ウェアや水冷服等の熱中症対策アイテムを補助対象とした。

- ・認定農業者の登録を勧奨し、1名の新規登録者を得て、累計19経営体25名となった。
⇒令和6年度比変動なし（新規1名、1名廃業）

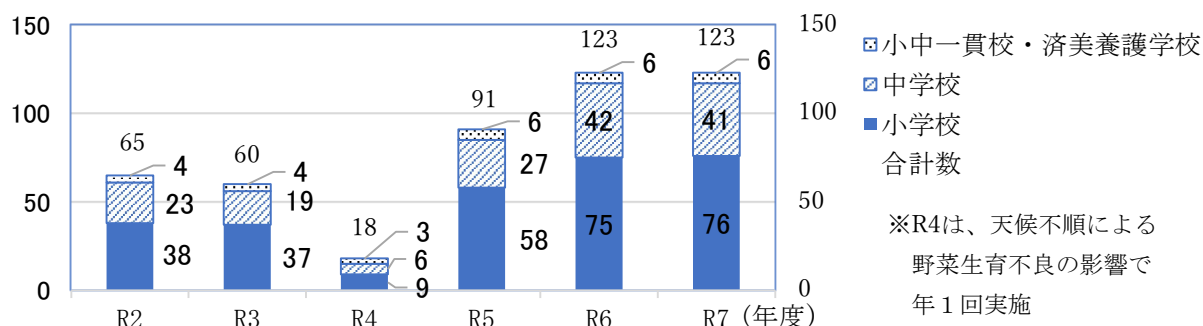
(取組3) 地産地消の推進

○即売会を区役所本庁舎や農業祭において開催し、定期開催分も含め合計186回実施した。

○学校給食に杉並産農産物を活用する「地元野菜デー」について、令和7年7月及び12月に全区立学校（62校）※にて実施した。

※ 給食室の工事等により、未実施の学校あり

地元野菜デー実施校の推移（延べ数）



- 杉並産農産物の学校給食への提供を一層推進するためモデル校を6校指定して学校給食で利用する野菜の調整・配送等を計36回試行実施した。
⇒令和6年度比4校30回増
- 地産地消の推進に向けて、区と生産者・J A東京中央・教育委員会・学校栄養士を委員とする杉並区地産地消推進連絡会で意見交換を行った。(令和7年4月、9月、令和8年3月)
- 東京都エコ農産物の認証取得農業者を紹介するリーフレットを刊行し、普及・啓発に努めた。



(取組6) 農業と福祉の連携【重点】

- 農福連携農園(愛称:すぎのこ農園)では、農へのふれあいを通じて障害者・高齢者等の健康増進やいきがい創出などを図ったほか、子ども食堂や障害者施設に対し収穫物を提供した。
 - ・収穫物の提供:27団体(延べ302回)⇒令和6年度比提供団体数12減、提供回数2回増
 - ・障害者施設等との連携による「すぎのこマルシェ」の定期開催(毎月1回 計12回)
 - ・子ども食堂の開催(隔月1回 計6回)
 - ・団体農園区画:12団体(障害者施設、保育園等)が利用
 - ・すぎのこ農園まつり(マルシェ、収穫体験、農芸高校と連携した物販やレシピ紹介など)

(取組7) 区民が農業にふれあう場の提供

- 多くの区民が農に親しむことができる場として区民農園を設置し、現在は、令和7年3月15日から令和10年2月15日までの3年間、約800人の利用者が利用している。

区民農園名称	所在地	面積	区画数	開園日
① 上井草第二	上井草 4-20	2,128 m ²	151	H20.3.1
② 南荻窪	南荻窪 2-20	2,000 m ²	128	H18.4.1
③ 成田西	成田西 2-17	1,482 m ²	51	H16.3.1
④ 久我山	久我山 3-10	2,558 m ²	165	H20.10.31
⑤ 久我山第二	久我山 3-37	809 m ²	41	H15.3.31
⑥ 浜田山第二	浜田山 4-32	1,866 m ²	124	S56.8.1
⑦ 井草	井草 4-22	3,881 m ²	173	R5.10.1
①～⑦の合計		14,724 m ²	833	



- 成田西ふれあい農業公園やすぎのこ農園において実施する収穫体験などのイベントを通じて、区民の都市農地に対する理解促進を図った。
 - ・農業公園 講座:8種56回⇒令和6年度比3回増
収穫体験:21回⇒令和6年度比1回増
 - ・すぎのこ農園収穫体験:4回
- 上井草二丁目団体利用農園では、区内の保育施設、幼稚園や小学校を対象に収穫体験を実施した。
延べ40団体1,572名⇒令和6年度比12団体63名減

(取組8) ボランティア等の活用支援

○東京都援農ボランティア養成講座「青空塾」を実施した。
参加者：12名（令和7年6月～9月…8回、10月～12月…5回 計13回）

○すぎのこ農園ボランティア3年経験者及び成田西ふれあい農業公園の「農にふれあう講座」修了者をボランティア登録の対象として加え、ボランティアバンクを拡充した。
令和7年度末78名 ⇒令和6年度比16名増

○区内農家に対し、農業ボランティア96名をマッチングした。



(取組10) 他自治体との連携による都市農地の保全と都市農業の振興

○令和7年11月に練馬区で開催された、全国都市農業フェスティバル2025に初めて参加し、杉並区の農業の魅力と農産物のPRを図った。

総来場者 約75,000名

指標別実績

指標名	実績値			目標値		
	5年度 (2023年度)	6年度 (2024年度)	7年度 (2025年度)	6年度 (2024年度)	9年度 (2027年度)	12年度 (2030年度)
区内農地面積 の減少率 (前年比)	4年度～ 5年度の 平均 2.1%	4年度～ 6年度の 平均 1.4%	4年度～ 7年度の 平均 1.4%	4年度～ 6年度の 平均 1.3%	4年度～ 9年度の 平均 1.3%	4年度～ 12年度の 平均 1.3%
区内農業 産出額 (農地面積 1ha当たり)*	3年産 7.7百万円	4年産 7.7百万円	5年産 7.7百万円	4年産 7.5百万円	7年産 7.6百万円	10年産 7.7百万円

※杉並区総合計画の改定に伴い、より適切な指標に変更している。